



大平 喜代江

子ども家庭福祉・高齢者福祉の課題

問 子ども・子育て支援事業の現状を問う。

答 子ども・子育て支援事業計画に基づく諸施策を総合的かつ計画的に実施している。子ども・子育て会議において、毎年度の事業実績や実施計画の調査審議を行うとともに、新たな課題に対しては、子ども未来応援センターの設置や各家庭とのつながりづくりをめざすアウトリーチ型の家庭教育支援事業の導入を図るなど、着実に取組みを進めている。

問 本町の児童虐待の現状と対応を問う。

答 虐待対応件数は、ここ数年、10件前後で推移している。福祉課内の虐待防止センター虐待通告窓口で対応するほか、子どもの未来応援センターが包含するかたちでそれぞれの成長段階における切れ目のない支援体制を構築している。



問 介護保険利用の福祉用具購入や住宅改修に際し、費用の全額を利用者が支払い、あとから給付分が支給される償還払いでは、その費用準備は利用者にとって厳しい状況にある。利用者の自己負担分で支払いを済ませる方法はないのか。

答 福祉用具のうち貸与になじまない入浴や排泄に用いる用具（特定福祉用具）の購入費用を償還払いにより支給している。また、住宅改修については、支給限度基準額20万円、手すりの取り付け等の住宅改修を行った費用も償還払いにより支給している。償還払いに関しては、払う前か後かという違いはある。しっかり事務手続の内容も見ながら前向きに受領委任払いのあり方について、考えていきたい。

問 豪雨災害の復旧に向けて田尻川沿いに生じた圍場の冠水と道路浸水等への今後の対応を問う。

答 府は、府管理河川として、整備計画で唐木橋までの区間を当面整備し、地藏橋周辺から上流の冠水と浸水等の対応について地元および町と連携し対応するとしている。今後も継続し要望していく。

一般質問



平田 要

問 急傾斜地の被災住宅等に対する支援を問う。

答 府の大阪版被災住宅無利子融資制度また、土砂災害特別警戒区域にある既存住宅の補強や移転費用の一部を補助する支援制度を設けている。

問 旧東郷小学校の使用再開に向けた進捗よく状況は。

答 府の対応を問う。構想としてなくすのではなく、継続して協議を重ねていくスタンスとしている。



問 豪雨災害の復旧および新設の道路整備の影響とグラウンドの安全性の確認を行っている。今後、調査結果や地元地域などと協議を踏まえた上で事業の進捗よくを図っていく。

新設の道路整備
問 府要望の国道173号と国道477号を結ぶ新設道路整備を問う。
答 構想として、能勢淨化センター前交差点から下田尻の町道へトンネル等で連結することで、国道と国道を結ぶ道路整備を要望している。

豊中高校能勢分校への町のバックアップ
問 能勢分校への町の支援について問う。
答 能勢分校と本町がそれぞれの役割と自主性を尊重しながら、連携、協働する関係性を深めていく。

問 町の発展のため、町長をトップにした協議会を立ち上げ魅力ある学校づくりを進めていく考えを問う。
答 能勢分校の推移を見て、中学校、地域の方とこの問題を考えていかなければいけないと思っている。